

行政手続法・行政手続条例適用の不利益処分に係る処分基準

		所管課名	森林づくり推進課	整理番号	3-1
処分の種類	開発行為の中止・復旧命令				
根拠法令条例等・条項	森林法第10条の3				
処分の概要	<p>中止命令……森林法第10条の2第1項による許可を得なくて開発行為を行った場合又は森林法第10条の2第4項に規定する許可条件に違反している場合で森林の有する公益的機能を維持する上で支障がある場合には開発行為の中止を命令する。</p> <p>復旧命令……森林法第10条の2第1項による許可を得なくて開発行為を行った場合又は森林法第10条の2第4項に規定する許可条件に違反している場合で森林の有する公益的機能を復旧する必要があると認められた場合には復旧命令を行う。</p> <p>(知事権限で行う案件……中止命令を行ったもののうち、悪質又は重大な違反行為である復旧命令)</p>				
処分基準 (未設定の場合はその理由)	<p>未設定(法令等の規定において言い尽くされているため)</p> <p>[参考] 「開発行為の許可制に関する事務の取扱いについて」(平成14年3月29日付け13林整治第2396号農林事務次官依命通知)の別紙の第5のとおり</p> <p>(監督処分) 都道府県知事は、森林の有する公益的機能を維持するために必要があると認めたときには、第10条の第1項の規定に違反した者若しくは同項の許可に附した同条第4項の条件に違反して開発行為をした者又は偽りその他の不正な手段により同条第1項の許可を受けて開発行為をした者に対し、その開発行為の中止を命じ、又は期間を定めて復旧に必要な行為をすべき旨を命ずることができる。</p>				
基準の制定根拠	—				